



2021年5月10日

各位

会社名 イリソ電子工業株式会社  
代表者の役職氏名 代表取締役社長 鈴木 仁

(コード番号:6908)

問い合わせ先 専務執行役員 豊嶋 光由  
管理本部長

電話番号 045-478-3111(代表)

### 中期経営計画の見直しに関するお知らせ

当社は、2020年8月4日に中期経営計画(2021年3月期～2023年3月期)を公表いたしました。その後の自動車販売台数の急回復やNEV(New Energy Vehicle)車の急増等、市場が大きく変化していることを踏まえ、業績目標の見直しを中心とする「見直し中期経営計画(2022年3月期～2024年3月期)」を策定しましたので、お知らせいたします。

この見直しにおいて重点施策の骨子については変更しておりません。

<見直し中期経営計画の骨子>

#### 1. 業績目標

当社は、長期ビジョンとして売上高1,000億円の達成を目指しています。今回の中期経営計画の期間を、成長軌道への回帰と長期ビジョン達成の足場を固める3年間に位置付け、2024年3月期に売上高520億円、営業利益率20%の達成を目指します。

#### 2. 経営目標

##### 1) 旧中期経営計画(2021年3月期～2023年3月期)

	2020年3月期 (実績)	2021年3月期 (計画)	2022年3月期 (目標)	2023年3月期 (目標)
売上高	396億円	340億円	405億円	450億円
営業利益	46億円	14億円	49億円	72億円
営業利益率	11.7%	4.1%	12.0%	16.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	33億円	11億円	36億円	54億円
総資産	606億円	600億円	620億円	670億円
自己資本比率	84.4%	86.2%	86.2%	86.6%
設備投資	64億円	60億円	65億円	70億円
研究開発費	14億円	15億円	16億円	17億円
EPS	139.5円	46.7円	153.1円	227.6円
ROE	6.4%	2.1%	6.9%	9.6%

※為替レート設定はUSD108円、EUR120円(2021年3月期～2023年3月期)

##### 2) 見直し中期経営計画(2022年3月期～2024年3月期)

	2021年3月期 (実績)	2022年3月期 (計画)	2023年3月期 (目標)	2024年3月期 (目標)
売上高	365億円	420億円	470億円	520億円
営業利益	29億円	67億円	85億円	104億円
営業利益率	7.9%	16.0%	18.0%	20.0%

親会社株主に帰属 する当期純利益	21 億円	48 億円	60 億円	75 億円
総資産	639 億円	670 億円	720 億円	780 億円
自己資本比率	85.0%	86.0%	87.0%	87.5%
設備投資	48 億円	68 億円	75 億円	80 億円
研究開発費	12 億円	14 億円	16 億円	18 億円
E P S	90.9 円	203.7 円	256.6 円	317.5 円
R O E	4.1%	9.0%	10.0%	12.0%

※為替レート設定はUSD105円、EUR127円（2022年3期～2024年3期）

（注）この資料に記載されております業績の予想数値につきましては、本資料の発表日現在で得られた入手可能な資料に基づいて作成したものであり、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

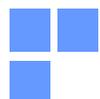
以上



# イリソ電子工業株式会社 中期経営計画の見直し

旧計画 2021.3期～2023.3期  
見直し計画 2022.3期～2024.3期

2021年5月10日



## 経営方針

真のグローバル企業を目指し  
次のステージへ飛躍

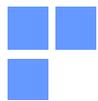
**顧客第一**  
**業界No.1**

～全社員の知恵をお客様の為に～

経営理念・3G6Sの徹底

13ヶ国のIRISOメンバーが心をひとつに

**TEAM IRISOの力を結集**

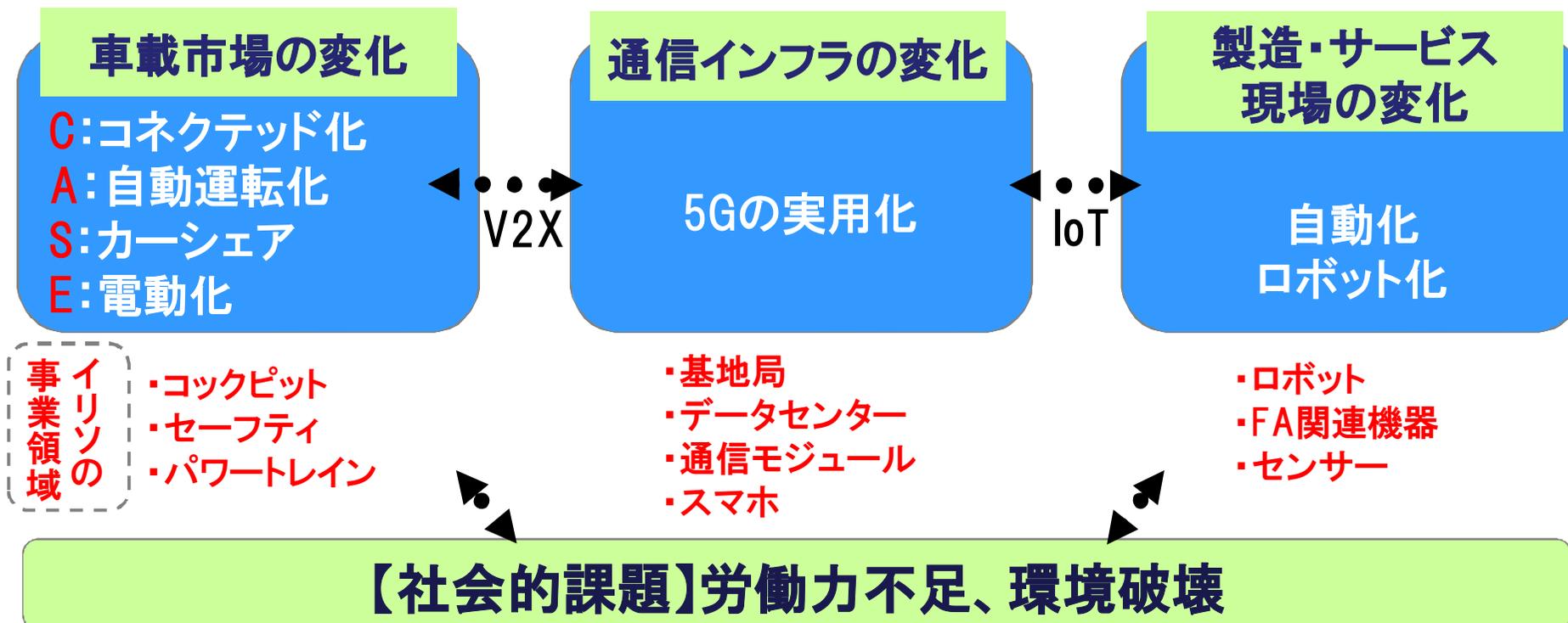


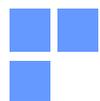
## 2. 市場動向

NEV\*車の急増等、市場の変化が加速  
→ イリソの事業領域は更に急拡大

\*NEV : New Energy Vehicle

イリソの強い技術「フローティング」「Auto I-Lock™」に  
更なる機能・価値を加えた商品・ソリューションを供給





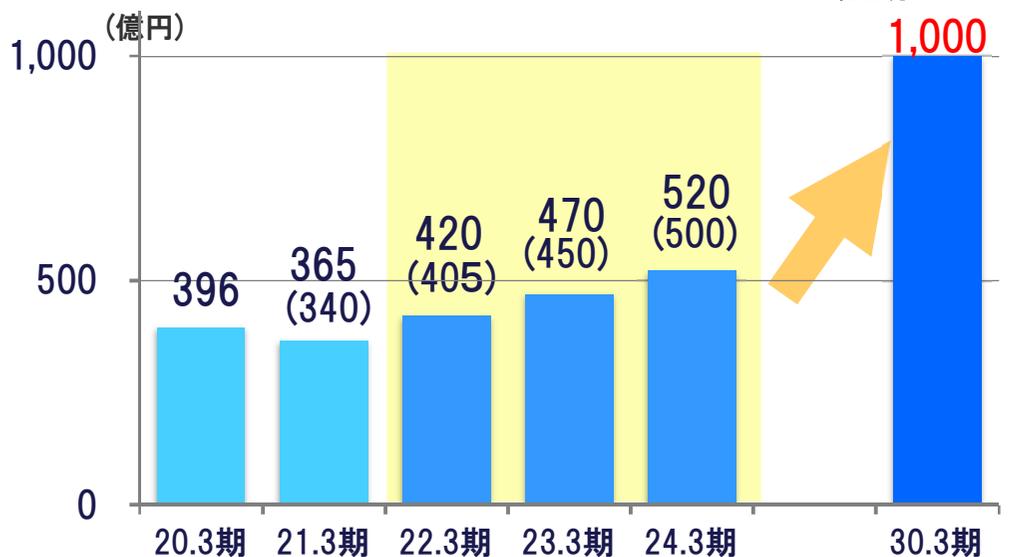
### 3. 業績目標



2024年3月期:売上高520億円・営業利益率20%

- ・自動車市場の急回復・NEV車シフトの加速の取り込み
- ・成長軌道へ回帰、長期ビジョン売上1000億円達成の足場固め

(1)売上目標



(2)営業利益率



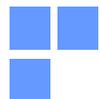
※設定為替  
レート

	21.3期	22.3-24.3期
USD	106.17	105.00
EUR	123.73	127.00

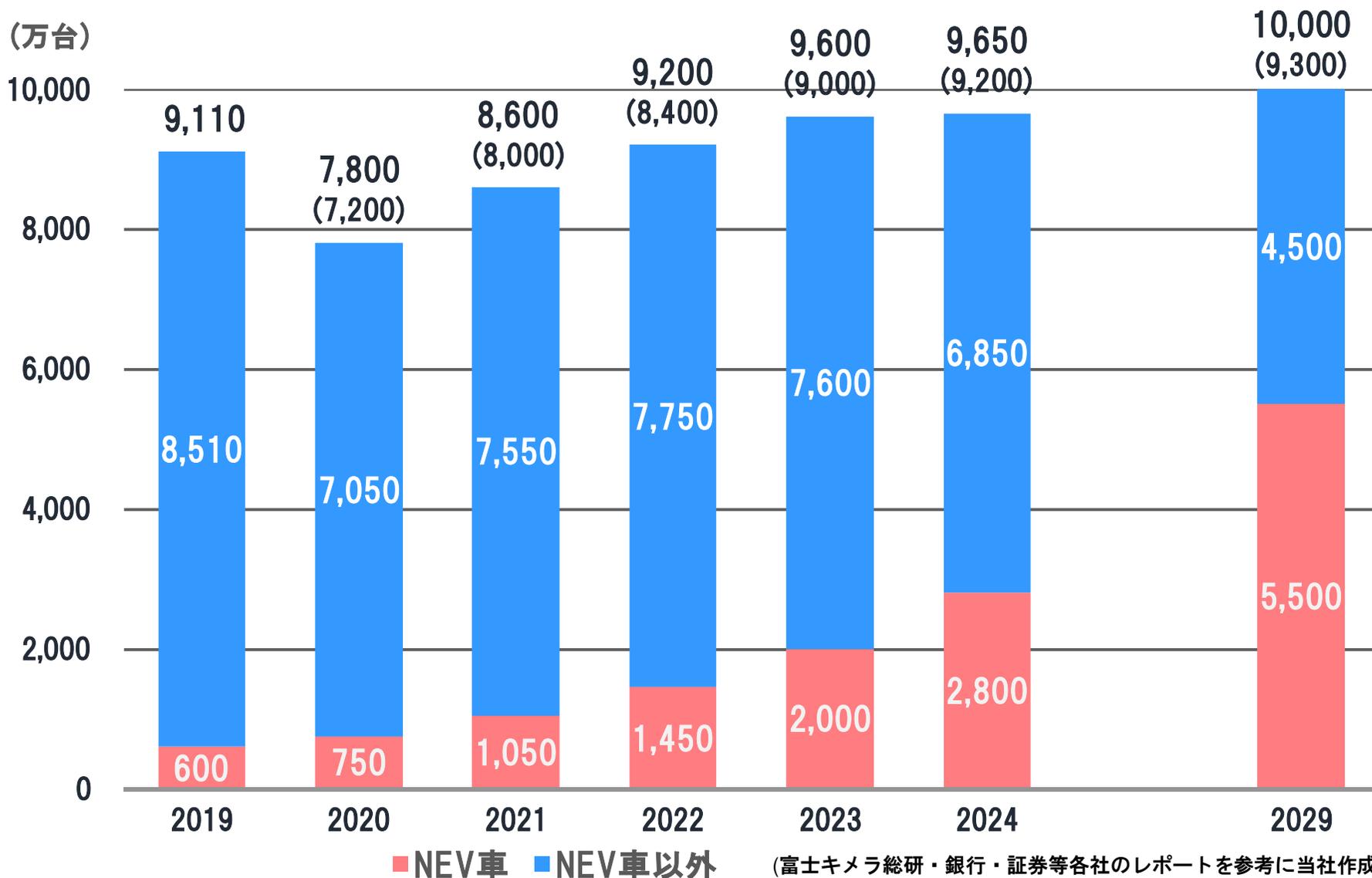
(3) EPS (円)

20.3期	21.3期	22.3期	23.3期	24.3期
139	91 (47)	204 (153)	257 (228)	317

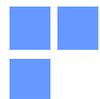
注:( )内は旧中期経営計画の数値



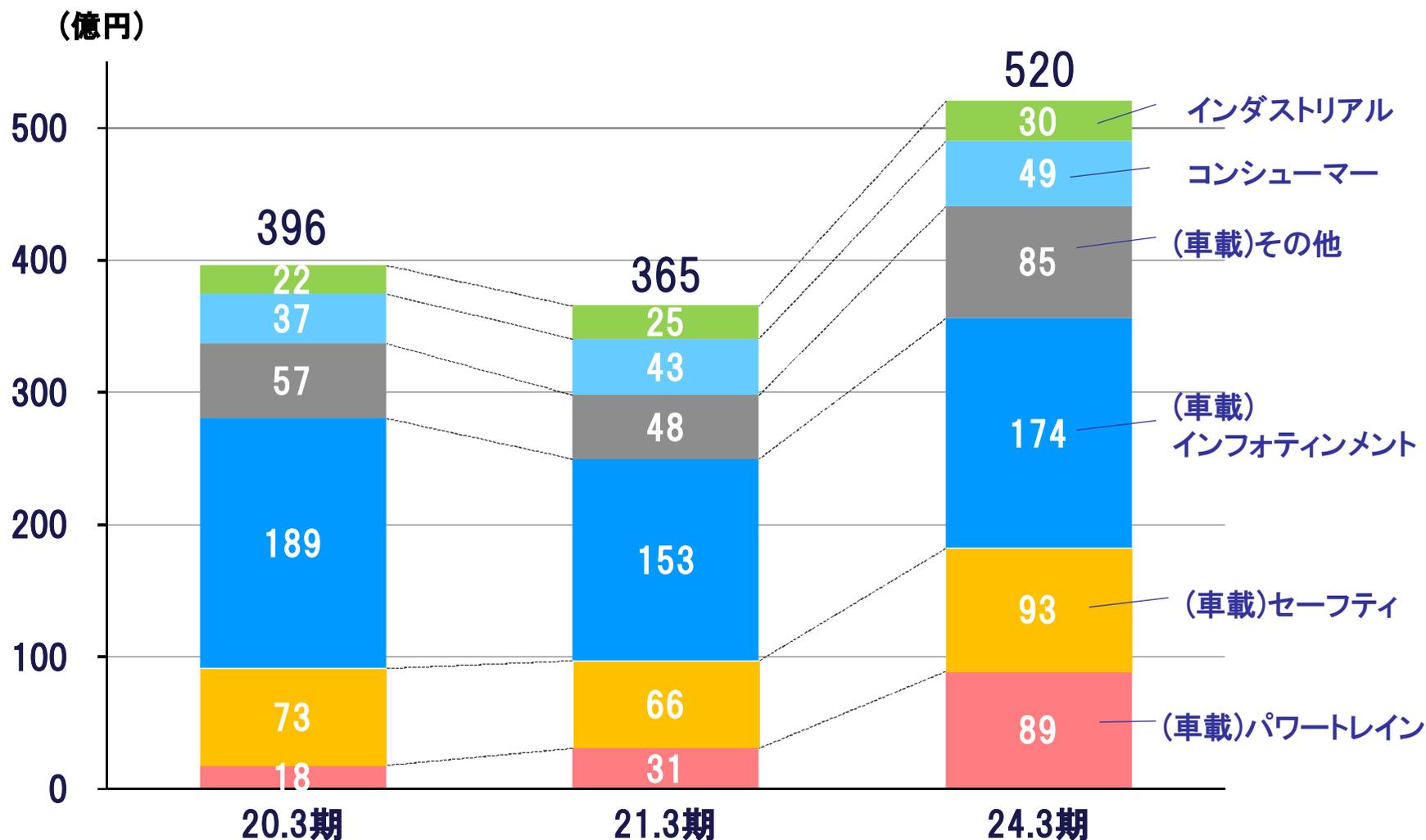
# 【ご参考】世界自動車販売台数見通し 当社推定



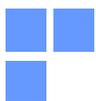
(注):( )内は旧中期経営計画公表時(2020年8月)の当社推定値



# 4. 中期経営計画 市場別売上高目標



●伸ばす分野・・・【車載】パワートレイン・セーフティ【その他】5G、ロボット



## 5. 重点施策



- 自動車市場の急回復、NEV車シフトの加速の取り込み
- 成長軌道へ回帰、長期ビジョン売上1,000億円達成の足場固め

### 販売強化

① 戦略的セグメンテーション+グローバル強化

② 車載市場(PA25領域)の強化

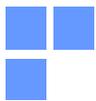
③ 第二の柱の早期確立

### 基盤強化

④ フローティングを核とした技術開発力の強化

⑤ 生産力、コスト力、品質力の強化

⑥ 経営インフラの強化



## 6. 各重点施策①

### ① 戦略的セグメンテーション＋グローバル強化

- ・市場セグメントを定め、各々の戦略に基づいて攻略
- ・海外営業体制を強化・サポート
- ・業界No.1スピードのワンストップ対応

イリソ	既存技術・既存市場	新技術・新市場
新領域	<p>差別化・カスタム商品で <b>奪取</b></p> <p>インダストリアル      その他車載</p>	<p><b>攻める</b> 新アプリケーション 顧客・市場ニーズの先取り</p> <p>PA25      Robot AI      5G</p>
既存領域の活用	<p>付加価値・コスト力で <b>守る</b></p> <p>コンシューマー インダストリアル      その他車載</p>	<p><b>強みを活かし伸ばす</b> 新アプリケーション 顧客・市場ニーズの先取り</p> <p>PA25      Robot AI      5G</p>



## 6. 各重点施策②・③

### ② 車載市場(PA25領域)の強化

#### ◆伸長するPA25領域に対し一層の拡販強化

・パワートレイン ・セーフティ ・インフォテインメント

耐振ソリューション提供  
(シミュレーション+ Z-Move<sup>®</sup>)

高速伝送コネクタ

### ③ 第二の柱の早期確立

#### ◆5G、IoT等、新たな市場ニーズに応える新製品の開発と攻勢

#### ◆産機のグローバルビッグ顧客に対するカバレッジ強化

#### ◆顧客・市場の特性に応じた販売チャネルの多様化

#### ◆フローティングに次ぐコアコンピタンスの創造(オープンイノベーションの活用検討)

グローバル強化・業界No.1スピードのワンストップ対応



## 6. 各重点施策④

### ④ 技術開発力の強化

#### ◆フローティングテクノロジーの進化による革新的接続を実現

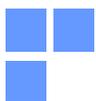
##### ■ 業界No.1・Only One製品の開発

- ・顧客に業界No.1スピードのワンストップ対応

##### ■ 付加価値を創造する商品開発

- ① 高速伝送化
- ② 高電流/高電圧化
- ③ 軽量/小型化
- ④ 多極化
- ⑤ 自動組立化
- ⑥ インターフェース製品の強化

- ・他社を凌駕する新製品開発
- ・顧客ニーズを先取りした、先進技術製品を活用したソリューション提案



### ⑤ 生産力、コスト力、品質力の強化

#### ◆生産プロセス強化

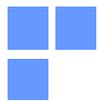
- ①設備・金型の標準化推進
- ②部材の現調化と地産地消生産の促進  
・メキシコ工場は、市況を見つつ建設準備
- ③BCP対応力の強化

#### ◆コスト力強化、生産性向上

- ①スマートファクトリーの強力推進
- ②設計の標準化を含む原価低減への弛まぬ取組み
- ③生産リードタイム短縮、開発TATの削減(目標30%短縮)

#### ◆品質の向上

- ①サプライヤーの管理・品質保証体制の充実
- ②クリーンリネスの追求による製品付着異物の削減と管理



## 6. 各重点施策⑥

### ⑥ 経営インフラの強化

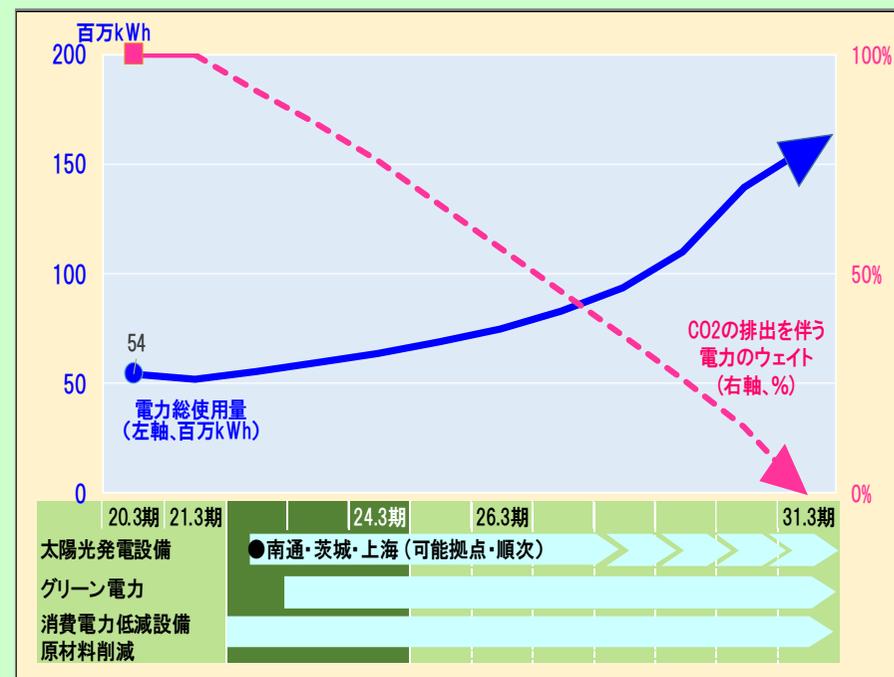
#### ◆基幹システムの刷新

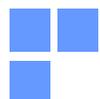
・BPRとグローバルシステム構築の同時推進

#### ◆ESGの拡充

- ①CO2排出削減(2030年に電力由来のCO2排出ゼロ)
- ②多様な人財の活用
- ③レジリエンス経営の強化  
(コロナ禍を契機にリスクマネジメント、BCPの強化)

【電力由来のCO2削減ロードマップ】





## 7. 経営目標



	21.3期実績	22.3期 計画	23.3期 目標	24.3期 目標
売上高	365億円	420億円	470億円	520億円
営業利益	29億円	67億円	85億円	104億円
営業利益率	7.9 %	16.0%	18.0%	20.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	21億円	48億円	60億円	75億円
総資産	639億円	670億円	720億円	780億円
自己資本比率	85.0%	86.0%	87.0%	87.5%
設備投資	48億円	68億円	75億円	80億円
研究開発費	12億円	14億円	16億円	18億円
EPS	90.9円	203.7円	256.6円	317.5円
ROE	4.1%	9.0%	10.0%	12.0%
為替前提	ドル106.17円 ユーロ123.73円	ドル105.00円 ユーロ127.00円	ドル105.00円 ユーロ127.00円	ドル105.00円 ユーロ127.00円

◆株主還元について…目標配当性向30%以上



# 会社概要



会社名	： イリソ電子工業株式会社
事業内容	： 各種コネクタの製造・販売
設立年月	： 1966年 12月
社員数	： 3,277名(2021年3月31日現在)
資本金	： 5,640百万円(2021年3月31日現在)
本社	： 神奈川県横浜市港北区新横浜2-13-8
営業拠点 国内 海外	： 本社、福島県、茨城県、愛知県、大阪府 シンガポール、香港、アメリカ、ドイツ、タイ、韓国 中国(上海、大連、天津、蘇州、深圳、重慶)、マレーシア、 台湾、インド
研究開発	： 本社(イリソテクノロジーパーク)、 川崎(生産技術センター)、上海R&Dセンター
工場	： 茨城県、中国(上海、南通)、フィリピン(マニラ)、 ベトナム(ハイズオン)

この資料に記載されております業績の予想数値につきましては、本資料の発表日現在で得られた入手可能な資料に基づいて作成したものであり、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通しのみに依拠してご判断されることはお控え下さるようお願いいたします。

なお、本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。